

学校関係者評価の実施（2025年3月12日・役員茶話会にて）

<幼稚園・父母の会について> (4) 参照

- ・1人1人の個性を把握して保育してくれる園は他にない。自主性を重んじつつ、でもまとまるところを導いてくれる。信頼が置ける。
- ・役員会において、月1で園が大切にしていることを知る場ができた。これまでは行事が開催されることを受身で見えていたが、役員になることで背景にある子どもの姿や、職員の工夫を知る事ができて、自分も楽しみに思える機会が増えた。
- ・集団生活を守るには、たくさんの配慮が必要であることを感じ、これまで以上に感謝を持って過ごしたいと感じた。子どもたちのエピソードを毎月聞ける場が嬉しく、園の内側にいられた感覚。
- ・この幼稚園の良さを改めて感じたことで、働きながら子育てをしたい父母にとって通いにくさがあることをもったいなく感じた。幼少期に味わっておくべき経験が詰まっている分、地域の子どもたちのためにもっと発信して広まってほしい。一人でも多くの子どもたちが戸山に関わり、小さいうちに心の中に残せるものを増やしてあげてほしい。
- ・父母の会の活動を常に見直しながら、今できる形を一緒に考えることが出来てなんとか乗り越えられた。次年度はまた新たな方法が作られるかと思うが、みんなが無理なく取り組める形になると良い。

<食育について> (2) 参照

- ・やきいもパーティーなど、楽しい雰囲気の中で自分の手で集めた材料で達成できる経験を通して食育に繋がっていると感じた。
- ・お別れパーティーで手作りのカレーを味わい、誰かに作ってあげる喜びを味わいながら、自分たちの満足感にも繋がっていた。それのおかげで苦手なカレーを食べられるようになった年長がいた。
- ・特別な食育活動だけではなく、日頃から園庭でお弁当を食べる機会や、好きな友だちと食べられる座席など、些細な日々の工夫によって子どもたちの食事の時間に喜びが増えているのを感じる。

<行事について> (3) 参照

- ・運動会は、我が子のみならずそれぞれの子どもたちの成長をみんなで感じられる場があたたかくて戸山幼稚園の雰囲気が味わえる。秋という、園環境に慣れた頃に行うこともあり、自然体な子どもたちの姿を見られるのが嬉しい。子どもたちみんなで作っている雰囲気が好き。
- ・コロナ禍で無くなった園が多い中で、戸山幼稚園はお泊り保育を継続しているのが良かった。夜の探検や夕食のメニューなどは、先生たちが日頃から子どもたちの姿に応じて計画準備していることで、年長児が前向きにお泊り保育に向かっていた。我が子が前向きに参加していることを前提に、兄弟が多い中で家族の時間を丁寧に過ごす機会にもなった。日頃甘えられない兄姉と親の時間が密に取れた。
- ・生活発表会のたてわりでの空気がとても良かった。クラスの時とは違う表情や姿が見られて、子どもたちの個性が生かされていた。
- ・マラソンは互いに刺激し合える機会であることが良い。自然を活かしていることも含め、個人差がある中でもそれぞれが各自のペースで意欲的に取り組んでいる。
- ・預かり保育の特別感を子どもが好んでいた。大人数では出来ない遊びの特別感や、園でおやつを選んで食べる楽しさを友だちと共有できるのが良い。